

みんなちがって、みんないい

私は仕事で、特定不妊治療費助成事業に携わっています。業務に携わる中で幸せな気持ちになることがあります。

それは、「妊娠しました」とお聞きしたり、そのお子さんが健やかに成長している姿をお見かけしたりする時です。そんな時、この事業の大切さを改めて感じます。しかし、治療をしても子どもを授からない人もいらっしゃると思います。

私の知人は、不妊治療をしたものの授かりませんでした。周りからの期待に応えられないことにも苦しみ、「自分なんか消えてしまいたい」と思いつめたそうです。

その話を聞いた時、子どもを望みながらも授からない夫婦の苦しみは、これほど深いものなのだと思いました。私はその時、話を聴き、寄り添うことしかできませんでした。

また別の知人は、結婚して5年程、二人だけの生活を楽しんでいました。「そろそろ子どもを授かりたいな」と話していましたが、なかなか授かりませんでした。

その知人が、ある時話してくれました。同窓会で久しぶりに会った友人から「お子さんは？」



毎月11日は「人権を確かめ合う日」
ご意見は人権・男女共同参画推進室(☎63-7909)へ

おたがいない家庭もその背景は多様で、夫婦の生活を楽しんでいる人、経済的な理由や身体的な理由で望んでいない人、妊活中の人、不妊治療中の人、治療をしても授からない人などいろいろなケースがあります。

「みんなちがって、みんないい」は金子みすゞさんの言葉です。この言葉は、「あなたはあなたでいい」と教えてくれます。私はこの言葉が教えてくれている温かいまなざしを持ち続けていたいと思います。

と聞かれ、「いいないよ」と言うと、友人が申し訳ないことを聞いてしまったという表情で、「ごめん」と言ったので、この後しばらく落ち込んだというのです。「ごめん」と言うのではなく、さらっと受け流してくれていたから落ち込まなかったかもしれないと思います。こんな時、どうすれば良かったのか正解は分かりません。「ごめん」と言ったその友人の気持ちも分かりません。知人にとっては、寄り添った言葉が良かったのかもしれない。人にはそれぞれ置かれた立場があり、望む家族の形も百人百様です。

三重県知事と市長の円卓対話が開催されます

要約筆記・手話通訳
磁気ループあり



名張市長
亀井利克

テーマ
だれ一人取り残さない
地域共生社会の実現に向けて

日時 4月11日(月) 午後1時30分～2時30分
場所 近畿大学工業高等専門学校(春日丘)



三重県知事
一見勝之

要事前申込 ※先着100人。申込みは、電話や右のQRコードから
☎ 総合企画政策室 ☎ 63-7389 ☎ 61-0815 ✉ kikaku@city.nabari.mie.jp



公務員世帯、高校生のみの子どもがいる世帯の皆さんへ

子育て世帯への臨時特別給付金の申請はお済みですか？

申請は、
3月末まで！

高校生以下の子ども1人につき10万円の給付を受けることができる「子育て世帯への臨時特別給付金」のうち、公務員世帯と子どもが高校生のみの世帯は申請が必要です(所得制限あり)。子育て世帯への臨時特別給付金(10万円)の申請は3月末まで ◎詳しくはHPか問合せ先へ



☎ 子ども家庭室 ☎ 63-7594

地域がもっと、おもしろくなる！

omo-local 通信

オモ・ローカル vol.5

暮らしが豊かになっていくような、わくわく・おもしろい地域の取組をピックアップ！

☎ 地域経営室 ☎ 63-7484

「おいしいおにぎり出来たよ」

つつじが丘市民センターでは、小中学生を対象におにぎりとお味噌汁を自分で作る活動を毎月1回開催しています。その名も「おにぎりくらぶ」といいます。

地域の役員会で子どもの支援や課題を考える中で、「家に保護者がいないとき、子どもでも簡単な食事が作れるようになればいいね」という話が出たのがきっかけです。

地域の人が講師となって、子どもたちがお米をとぎ、水加減を計り炊いておにぎりを握ります。だしを取り、野菜を切ってお味噌汁も作ります。おにぎりの大きさは不揃いですが、子どもたちは「おいしい」と大満足の様子。地域の人と、子どもたちが交流する機会にもなっています。



おにぎりの握り方を教わります



おにぎりとおかずの完成

ひとり親家庭を支える「家庭生活支援員」を募集

<支援内容・資格>

子育て支援 乳幼児の保育、児童の生活指導など

資格 保育士、幼稚園教諭、小・中学校教諭など

生活援助 家事、介護、送迎など

資格 介護職員初任者研修修了者、介護福祉士、看護師など

登録方法 有資格者であることの確認書類を持参し、市役所1階子ども家庭室で登録手続きをしてください。詳しくは、問合せ先へ

◎依頼は不定期です。

☎ 子ども家庭室 ☎ 63-7594

「認知症の人と家族の会」つどい・交流会

日時 3月22日(火) 午後1時30分～4時

場所 防災センター(鴻之台1)

対象 認知症の人とその家族 参加費 200円

※認知症の人は無料。家族の会会員は100円。

申込不要。認知症の人が参加する場合は、事前に問合せ先へ

☎ 地域包括支援センター ☎ 63-7833

「県民の日」は、名張藤堂家邸跡と夏見廃寺展示館が入館無料

毎年4月18日は「県民の日」。これを記念して4月16日(土)・17日(日)は、名張藤堂家邸跡と夏見廃寺展示館の入館料を無料とします。

☎ 名張藤堂家邸跡 ☎ 63-0451

夏見廃寺展示館 ☎ 64-9156

ハクモクレンの香り漂うお庭を散策しませんか 名張藤堂家邸の中庭特別開放

開放期間 3月25日(金)～4月8日(金)

午前9時～午後5時

【月・木曜日は休館】

入館料 一般200円・高校生100円

☎ 文化生涯学習室 ☎ 63-7892

